

# 次号予告

62 巻 5 号/2011 年 10 月刊

## 増大特集 細胞核—構造と機能

### 1. 核膜

核膜タンパク質……………原 口 徳 子  
核膜タンパク質エメリン……………原 口 徳 子  
分裂酵母核膜タンパク質……………平 岡 泰  
Nucleophagy……………林 由 起 子

### 2. 核膜孔複合体

核膜孔複合体の形成機構……………今 本 尚 子・他  
核膜孔複合体タンパク質 Nup50, Nup98  
……………小 川 泰  
核膜孔複合体タンパク質 Nup62 と神経  
変性疾患……………金 子 鋭・他  
核膜孔複合体タンパク質 GP210……………中 村 稔・他  
核膜孔複合体タンパク質 POM121/  
NUP121……………船 越 智 子・他  
核膜孔複合体タンパク質 Nup107,  
Nup133……………三 村 恭 弘・他  
核膜孔複合体タンパク質 Nup88……………橋 爪 恵 子・他  
インポーティン  $\alpha$ ……………盛 山 哲 嗣  
インポーティン  $\beta$  依存的輸送経路……………吉 村 成 弘・他

### 3. 核骨格

核マトリックスとゲノムダイナミクス……………奥 村 克 純  
核マトリックスタンパク質……………堀 米 恒 好・他  
A 型ラミン……………林 由 起 子  
核膜の裏打ちタンパク質 Lamin-B1……………佐 藤 聡・他  
核内における細胞骨格関連タンパク質……………糸 田 昌 宏・他

### 4. 核小体

核小体……………小 林 武 彦  
リボソーム RNA 遺伝子のくり返し配列  
がもつ構造的役割……………小 林 武 彦  
Small subunit processome……………牛 田 千 里・他  
核小体タンパク質フィブリラリン……………牛 田 千 里・他  
ユビキチン化による核小体の構造と機能  
の制御……………駒 田 雅 之  
核小体の単離・精製とその構造……………Emilie Louvet・他

### 5. 染色体

ヘテロクロマチンとユークロマチン……………広 瀬 進  
ヌクレオソームとヒストン……………田 上 英 明  
ヒストンリスト……………藤 田 道 也  
ヒストン H1……………平 野 泰 弘・他  
ヒストン H2……………藤 田 道 也

ヒストン H3T……………立 和 名 博 昭・他  
ヒストン H4……………伊 藤 昭 博  
コンデンシン・コヒーシン・SMC タンパ  
ク質……………平 野 達 也

染色体分配における姉妹染色分体接着の  
役割……………進 寛 明・他  
セントロメアの構造……………深 川 竜 郎  
CENP-B とセントロメア・キネトコアの

構築……………舩 本 寛  
染色体パッセンジャー……………岡 本 茉 佑 美・他  
染色体パッセンジャー複合体タンパク質

オーロラ……………岡 本 茉 佑 美・他  
ヘテロクロマチンタンパク質 HP1……………中 山 潤 一  
キネトコアと微小管の結合を制御するタ

ンパク質 CAMP……………田 中 耕 三  
新しく見出された CENP-S/X 複合体……………深 川 竜 郎  
構成的動原体蛋白質 CENP-50 の同定と

機能解析……………箕 嶋 幸 範・他  
BRCA2 とヌクレオホスミン……………三 木 義 男

### 6. 核内受容体

ビタミン D 受容体の活性化機構……………榎 島 誠  
核内受容体を標的とするケミカルバイオ  
ロジー……………棚 谷 綾・他

エストロゲン受容体  $\beta$  を介した多彩な  
転写制御機構……………仲 島 由 佳・他  
核内受容体を介した化学物質の生体応答

とその検出……………斎 藤 幸 一  
核内受容体による学習記憶制御……………喜 田 聡

### 7. 核内移行

活性化 T リンパ核ファクターの核内移  
行経路……………芝 崎 太

タンパク質の核内輸送の構造基盤……………佐 藤 衛  
タンパク質核内移行研究法……………小 澤 岳 晶・他

タンパク質核内移行の阻害剤……………辻 省 次  
糖鎖修飾による核移行の促進……………新 倉 謙 一・他

### 8. その他

核内ゲノムダイナミクスの可視化……………奥 村 克 純  
核内 RNAi の役割……………石 塚 明・他  
テトラヒメナの二つの核……………沼 田 治  
細胞質分裂における収縮環形成機構……………沼 田 治

●財団だより●

### 第 19 回「総合リハビリテーション賞」受賞論文決定

第 19 回「総合リハビリテーション賞」受賞論文として下記論文が決定致しました。授賞式は 9 月 28 日(水), ㈱医学書院において行われます。武田正則氏には賞金と賞・記念品および共同執筆者に賞状が贈られます。

受賞論文：脊髄損傷者における車いす上除圧・減圧姿勢の検討

著 者：武田正則, 吉澤一成, 谷本義雄

(㈱労働者健康福祉機構吉備高原医療リハビリテーションセンター)

武田正則, 山本澄子

(国際医療福祉大学大学院)

掲 載 号：「総合リハビリテーション」38 巻 6 号 563-569 頁(2010 年 6 月号)

「総合リハビリテーション賞」について

前年の 1 月～12 月までに「総合リハビリテーション」誌(医学書院発行)に掲載された全論文を対象に同誌編集委員会にて審査し、リハビリテーション全領域での最優秀論文一編を選び本賞を贈るものです。

主催〔財〕金原一郎記念医学医療振興財団

後援「総合リハビリテーション」編集室

---

(財)金原一郎記念医学医療振興財団 事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷 1-28-13 メゾン・ウイスタリア 201

TEL 03-3815-7801 FAX 03-5800-2722